

第3期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画のポイントについて

参考資料2

1

歯科口腔保健推進の方向性を定め取り組みを推進

第2期計画の成果を受け継ぐ形で「乳幼児期及び少年期の歯科口腔保健対策の重点化」、「歯周病予防対策の強化」、「要介護者、障害児・者への歯科口腔保健対策の充実」、「施策の展開による連携づくりの推進」の4つの方向性を定め、歯科口腔保健を推進

2

歯・口腔の健康格差の縮小への取り組み

達成指標に「3歳児における4本以上のむし歯を有する人の割合」を設定、市町村と連携したハイリスク者への歯科保健指導等の取り組み等により健康格差の縮小を目指す

3

口腔機能の獲得・維持・向上に向けた取り組み

各論に項目を追加するとともに、達成指標に「50歳以上における咀嚼良好者の割合」を設定、むし歯予防対策や歯周病予防対策等に加え、高齢期以前からのオーラルフレイル対策の啓発等により取組を強化

4

大規模災害時に備えた平時からの啓発や連携体制の構築

各論に項目を追加、大規模災害時の歯科口腔保健について、平時から啓発や研修、関係団体との連携に努めることを明記

5

国の基本的事項(第2次)を踏まえた内容で加除修正

計画期間、ライフステージについて国の基本的事項と整合性を保つ内容とし、記載内容も国の基本的事項を基にした取組を追加、歯科口腔保健の総合的な推進施策との調和を図る

第3期計画推進に向けた具体的な取り組み

歯科口腔保健
推進の方向性

乳幼児期及び少年期の歯科口腔保健対策の重点化

- ・ フッ化物洗口導入を希望する施設や学校に向け市町村と連携した支援を実施
(例) フッ化物洗口導入費用の補助、導入支援研修会等の開催支援
マニュアル作成等を通じたノウハウの提供

- ・ 妊産婦やその家族及び乳幼児への歯科口腔保健の啓発
(例) 歯科医師会と連携しパンフレットを作成、市町村や産科医療機関を通じ配布

- ・ 家庭での歯の健康管理を通じた健やかな生活づくりの推進
(例) 歯科医師会、教育委員会と共に表彰や講演を実施(宮城県歯科保健大会)

- ・ 母子保健や子育て支援に従事する者の歯と口腔の健康づくりに関する資質の向上
(例) 幼保施設等の職員、市町村母子保健担当者への研修を実施

- ・ 歯肉炎対策に効果的なセルフケアの方法に関する知識の普及と習慣づけを推進
(例) 学校と連携し歯間清掃用具等の使用体験の機会の提供

- ・ 保健教育に従事する者の歯と口腔の健康づくりに関する資質の向上
(例) 歯科医師会と連携し教育教材を作成、養護教諭などへの研修を実施

歯周病予防対策の強化

- ・ 働き盛り世代への啓発を事業所や保険者等と連携し推進
(例) 優良事例の横展開に向けた情報収集
- ・ 喫煙、受動喫煙防止対策と連携した歯周病予防対策の啓発
(例) 禁煙週間等の機会を捉えた啓発活動

要介護者、障害児・者への歯科口腔保健対策の充実

- ・ 障害児とその保護者や支援施設職員への歯科口腔保健指導の充実
(例) 歯科衛生士会と連携し児童発達支援施設等の親子歯みがき教室を実施
- ・ 在宅の要介護者・障害児・者が口腔ケアや歯科保健指導を受けやすい環境整備
- ・ 在宅歯科医療・口腔ケア従事者の確保及び資質向上
(例) 歯科医師会と連携し全県的な在宅歯科医療の相談窓口を設置
- ・ 歯科医師会と連携し歯科医療関係者等向けた研修会の開催やハンドブックの作成を実施
- ・ 在宅の要介護者及び障害児・者に対する歯科医療等提供体制を整備するための人員体制に対する補助を実施

- ・ 要介護者及び障害児・者の口腔ケアに関する、専門的な知識と技術を備えた人材の確保と資質の向上
(例) 歯科医師会と連携し介護専門職員、障害福祉サービス事業所職員等に対し、要介護者及び障害児・者の口腔ケアに関する知識と技術の普及と向上を図る研修会を開催

施策の展開による連携づくりの推進

- ・ 口腔保健支援センターを設置し、歯科医療保健を担当する歯科医師及び歯科衛生士を配置、歯科保健体制を強化
各種施策の推進に向け、ライフステージごとの特性を踏まえた、生涯を通じた切れ目のない歯科口腔保健施策を展開するとともに、ライフコースアプローチに基づく歯と口腔の健康づくりの推進に取り組む
また、歯科口腔保健の推進に携わる人材育成に取り組む
(例) 市町村と連携した歯科口腔保健施策の展開(健康格差の解消に向けた歯科保健指導の充実など)に向けた連絡・調整、研修会の開催
- ・ 各種事業について歯科専門職を始めとし、多職種と連携した取組を推進

- ・ 大規模災害時の歯科口腔保健について、研修等の機会を通じて平時から啓発に努め、歯科医師会等の関係団体と連携し共通認識を図る
(例) 大規模災害時の歯科口腔保健に関する研修会の開催
・ 連携体制の構築に向けた連絡調整

むし歯予防対策、歯周病予防対策等に関する啓発に、食育や口腔機能の獲得・維持・向上に関する視点を加えながら取組を推進